

第112期中間 株主通信

2023年4月1日 ▶ 2023年9月30日

証券コード：4536





基本理念

天機に参与する

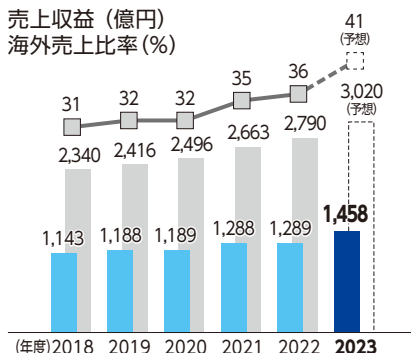
自然の神秘を解明して人々の健康の増進に貢献するということを意味しています。*

* 中国の古典「中庸」の一節をSantenが独自に解釈したもので、社名「参天」の由来でもあります。

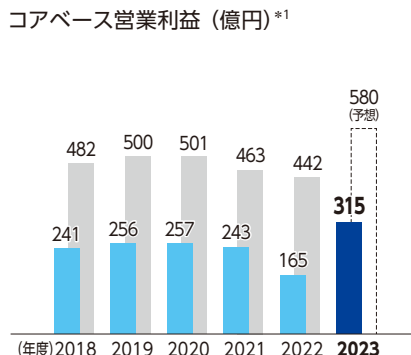
代表取締役社長兼CEO 平藤 毅

☐ 連結財務ハイライト ■ 第2四半期累計 □ 通期

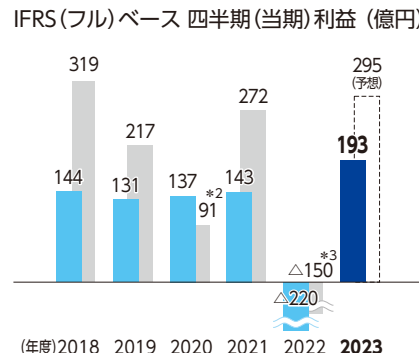
売上収益 (億円)
海外売上比率 (%)



コアベース営業利益 (億円)*1



IFRS (フル) ベース 四半期 (当期) 利益 (億円)



*1 IFRS (フル) ベースから一部の収益・費用 (製品に係る無形資産償却費、その他の収益、その他の費用、金融収益、金融費用、持分法による投資損益、企業買収に係る費用、並びに再成長のための生産性向上及び合理化等に係る費用) を控除し、それらに係る法人所得税費用を調整し、コアベースを算出しています。

*2 STN2000100 (DE-128) に係る減損損失を計上しています。

*3 Eyevence Pharmaceuticals Holdings Inc. (米国) 及びEyevence Pharmaceuticals LLC (米国) 関連資産の減損損失を計上しています。

収益性の改善に向けた構造改革が 着実に進展 通期予想を上方修正

2023年度第2四半期実績および通期業績予想

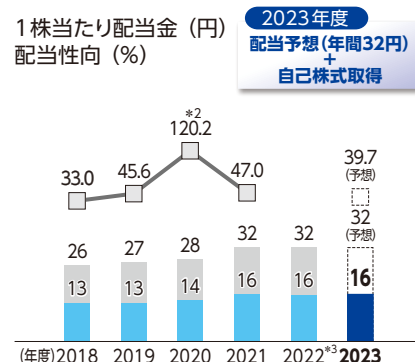
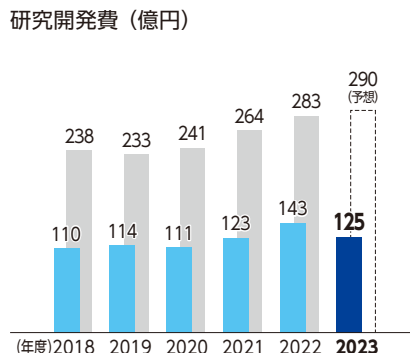
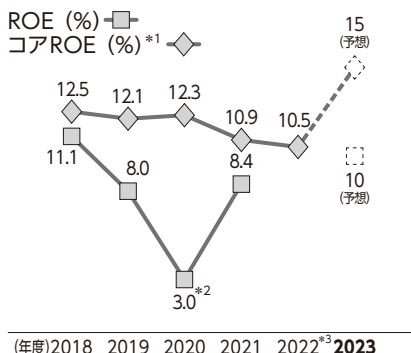
株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2023年度第2四半期は、新中期経営計画で成長に向けた基本方針の一つとして掲げた構造改革が着実に進展しました。これは米州医薬品販売事業の合理化が期初想定より早期に進捗したことや、各地域での人員や組織の見直しなどの生産性向上への取り組み、および継続的な全社コスト最適化が順調に進んだことによるものです。

売上収益は、一部製品に関連する一過性要因があったものの、中国の市場回復を含む海外事業の成長により、1,458億6百万円（対前年同期13.1%の増収）となりました。事業活動自体の収益性を示す

コアベースでの営業利益は、増収に加え前述の構造改革の取り組み効果などにより、315億3千3百万円（同91.7%の増益）となりました。また、IFRS（フル）ベースでの営業利益は250億9千9百万円（前年同期は190億2千1百万円の営業損失）、四半期利益は192億7千4百万円（前年同期は220億1千9百万円の四半期損失）です。

研究開発においては、小児における近視を対象にしたSTN1012700の日本でのフェーズ2/3試験および緑内障・高眼圧症を対象としたSTN1012600の日本でのフェーズ3試験で主要評価項目を達成しました。それぞれ、今年度および来年度中の申請を予定しています。また、ドライアイの患者さん向けの人工涙液などで用いている特許技術を用いた緑内障治療剤、Catiolanze（開発コード：STN1013001）については、欧州医薬品委員会が承認勧告を採択しました。2026年度以降の成長に向けこれまで以上に優先的に研究開発費を確保し、



パイプラインの開発を推進することで、中長期にわたる患者さんへの貢献の最大化を目指します。

2023年度通期予想については、前述の構造改革の成果や業績の動向を踏まえ、期初予想から上方修正しました。売上収益は対前年8.2%増の3,020億円、当期利益は295億円（前年度は150億円の当期損失）を予想しています。コアベースでの営業利益は過去最高の580億円を予想しています。

資本配分・株主還元について

新中期経営計画期間中においては、収益性改善を通じてキャッシュの創出力を高めてまいります。その上で、創出したキャッシュを将来の成長のために、研究開発や事業開発に投資してまいります。株主還元については、年間配当32円を下限値として利益成長に応じて増配を検討します。また、有望な事業開発投資機会が無い場合は株価の状況を鑑みながら、機動的な自己株式取得による利益還元を実施するこ

とを基本的な方針としています。

2023年度については、中間配当16円、期末配当16円の計32円を予定しています。また、2023年5月12日から2024年3月22日までを取得期間とする上限18,750,000株（自己株式を除く発行済株式総数に対する割合5.0%）もしくは245億円を上限とする自己株式取得を実施しています。自己株式については消却を予定しています。なお、本年9月30日時点で当社が取得した自己株式の総数は8,809,300株、取得価額の総額は111億円です。

これからも、基本理念に基づき、世界中の患者さんや眼科医から必要とされる製品・サービスを提供してまいります。またこの活動を通じ、眼科に特化した企業として世界中の眼科医療に貢献し、持続的な成長を目指します。株主の皆さまには、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

統合報告書「Santen Report 2023」を発行

幅広いステークホルダーの皆さまに当社が社会に提供する価値を知っていただけるよう、財務情報・非財務情報を融合した統合報告書を毎年発行しています。今年は、2023-2025年度新中期経営計画を中心に、戦略とそれを支える事業基盤についてご紹介するとともに、Santenがどのように価値を創造していくのかについてお伝えしています。

SantenのIR(株主・投資家向け)情報サイトにて公開。
環境配慮等の観点から、印刷冊子は発行しておりません。



<https://www.santen.com/content/dam/santen/global/pdf/ja/ir/document/202303/ar2023.pdf>

研究開発状況(臨床段階)

■緑内障領域 ■角結膜疾患領域 ■屈折異常領域 ■その他の領域

2023年10月時点

開発コード	一般名・化合物名	効能・効果	地域	臨床試験*1			申請	承認	発売	
				フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3				
STN1011101 /DE-111A	タフルプロスト/チモロールメリン酸塩	緑内障・高眼圧症	中国				2022年12月			
STN1012600 /DE-126	セバタプロスト	緑内障・高眼圧症	米国							
			日本							
STN1013001 /DE-130A (Catioprost)	ラタノプロスト	緑内障・高眼圧症	欧州				2022年9月			
			アジア							
STN1013900 /AR-13324	ネタルスジルメシル酸塩	緑内障・高眼圧症	日本							
			欧州						2023年2月	
STN1014000 /PG-324	ネタルスジルメシル酸塩/ラタノプロスト	緑内障・高眼圧症	アジア						2023年1月	
			欧州						2023年1月	
STN1007603 /DE-076C	シクロスポリン	春季カタル	中国						2022年4月	
STN1008903 /DE-089C	ジクアホソルナトリウム	ドライアイ	日本							2022年11月
			アジア						2023年3月	
STN1014100	オロダテロール塩酸塩	ドライアイ	日本		フェーズ1/2a					
STN1010904*2	シロリムス	フックス角膜内皮ジストロフィ	米国 フランス インド		フェーズ2a					
STN1010905	シロリムス	マイボーム腺機能不全	日本		フェーズ2a					
STN1011402	エピナスチン塩酸塩	アレルギー性結膜炎	日本						2023年3月	
STN1012700 /DE-127	アトロピン硫酸塩	近視	日本				フェーズ2/3			
			中国				フェーズ2/3			
			アジア							
STN1012701 /SYD-101	アトロピン硫酸塩	近視	欧州							
STN1013400	AFDX0250BS	近視	日本				フェーズ2a			
			中国							
STN1013600	ウルソデオキシコール酸	老視	米国				フェーズ2a			
			日本							
STN1013800	オキシメタゾリン塩酸塩	眼瞼下垂	日本							

*1 臨床試験：フェーズ1～3の3段階で実施されます。フェーズ1では、少数の健康な志願者を対象に安全性を確認します。フェーズ2では、少数の患者さんを対象に適切な投与量や投与方法を検討・確認します。フェーズ3では、多数の患者さんを対象に安全性・有効性を検証します。

*2 開発コードは、フェーズ2試験終了時に当社が独占的実施権を獲得した後に附番予定のコードです。

STN1011700およびSTN1007603は、2023年7月にそれぞれ、Visiox Pharmaceuticals, Inc. (米国) およびHarrow Health, Inc (米国) と、北米における製品ライセンスの導出契約を締結しました。

患者さんへの価値貢献を目指す製品創製

疾患や地域によって、目の健康維持・増進に関するさまざまな未充足ニーズが存在します。中には、顕在化して

Santenの製品創製



FOCUS

投与回数低減による患者さんの負担軽減

用法用量通りの点眼により治療効果を患

2019年11月に、従来製品に比べ点眼回数を一日2回に半減した抗アレルギー点眼剤「アレジオンLX点眼液0.1%」を日本で発売しました。2023年には一日1回塗布の眼科用クリーム(開発コードSTN1011402)の製造販売承認を日本で申請しています。

4回/日
アレジオン



2回/日
アレジオンLX



1回/日
STN1011402



2023年3月申請(日本)

いないものの患者さんや医療従事者の声に耳を傾けることで気づく潜在ニーズも数多く存在します。

Santenは、眼科のスペシャリティ・カンパニーとして、これらに気づき新しい選択肢を提供することで世界の患者さんへのさらなる貢献に努めています。

R&D部門、顧客対応部門を中心とした幅広い情報収集に基づき、ニーズの大きさ、実現可能性の高さ、解決できた場合の患者さんへの貢献度の大きさなどを総合的に勘案し、優先的に取り組むべきテーマを選定しています。

テーマごとに具体的な解決手段を検討しますが、その範囲は新規化合物の探索、製剤改良、容器開発など多岐にわたります。**点眼回数の軽減や防腐剤の入っていない製剤、患者さんの使いやすさを追求したディンプルボトルの開発**などはその一例です。

解決策の検討を経た後、臨床試験においては、Santenのグローバルでの研究開発体制を活かしながら、患者さんへの最速での価値提供を目指した最適な地域・方法での試験を選択しています。

①

未充足ニーズの把握

②

解決策の検討

③

臨床試験での
仮説検証

者さんに得ていただくための対策の一つとして、投与回数の低減が重要と考えています。

ドライアイ治療剤では2022年11月に一日3回点眼の「ジクアスLX点眼液3%」を日本で発売しました。**日本で承認されているドライアイ治療薬としては1日の点眼回数が最も少なく、点眼遵守がしやすいことが期待される製品として患者さんへの貢献を広げています。**

6回/日
ジクアス



3回/日
ジクアスLX



☐ 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月
基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

単元株式数 100株

公告方法

電子公告

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

公告掲載URL : <https://www.santen.com/ja/pn>

証券コード 4536

上場証券取引所 東京証券取引所

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

〒541-8502

大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

TEL : 0120-094-777 (通話料無料)

☐ 会社概要 (2023年9月30日現在)

社名 参天製薬株式会社
本社 〒530-8552
大阪市北区大深町4番20号
創業 1890年
設立 1925年
資本金 8,756百万円
工場 能登、滋賀、他
研究所 奈良研究開発センター、他
従業員数 4,021名 (連結)

参天製薬株式会社



FSC®認証紙と植物油
インキを使用しています。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

株式に関するお手続きについて

- 株券電子化に伴い、株主さまの住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行の本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。

お問い合わせ先

参天製薬株式会社
IR室

〒530-8552 大阪市北区大深町4番20号

TEL : 06-7664-8621 (代表)

Email : ir@santen.com

URL : <https://www.santen.com/ja>

■ 表紙の写真について ■

Santenは「天機に参与する」という基本理念の下、目の領域に特化した企業として、世界中の一人ひとりが「見る」に関する最善の体験を通じて、それぞれの最も幸福な人生を実現する世界「Happiness with Vision」を創り出したいと考えています。

この写真は、当社の社員が晩秋の紅葉を京都の寺院で撮影したもので、社内のフォトコンテストにて紹介された一枚です。境内奥の手水鉢の水面に浮かんだ落ち葉にフォーカスし、秋ならではの自然の色彩美を表現しています。